

【第一章】新村式基礎学習のシステム

この章では新村式基礎学習システムの全体像を把握します。システム概要から導入方法・学習プラン・指導・管理まで、分かりやすくまとめました。当システムの導入を検討されている先生はもちろん、導入して間もない先生も、きちんと理解して指導にあたりましょう。

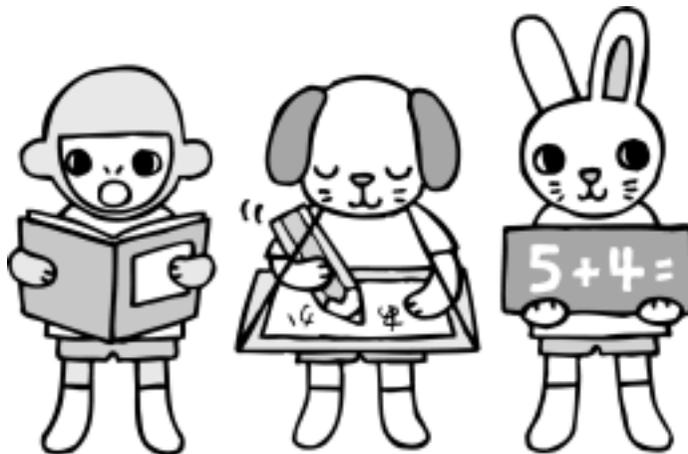
第一章 目次

(1) 基礎学習システム概要	5	『C』 小学生の学習内容	9
(2) 基礎学習システム全体図	6	『D』 幼児の学習内容	11
(3) 基礎学習システム詳細	7	『E』 指導	13
『A』 生徒募集	7	『F』 管理	16
『B』 入塾受付	8		

(1) 基礎学習システム概要

低学年で習う学習＝読み・書き・計算は、その後(中学・高校・大学)の学習の基礎となり、また大人になってからも必要とされる最も大切なものです。この段階をどれだけ伸ばしてあげられるかが、塾の繁栄にも大きく関わってきます。

読み・書き・計算を中心に「わかる教材」を基本理念として作られた新村式基礎学習教材。この教材を使って展開する学習システムとは以下の通りです。



新村式基礎学習システムとは？

幼児・低学年からスタートできる**学習システム**

「読み・書き・計算」という3つの基礎をバランスよく取り入れた**学習システム**

学年という枠を外し、個々の能力に応じてスタートする進級式の**学習システム**

100人の子が200とおりの教材と、その子に合った100とおりの指導法で

一斉授業と個別指導が併行できる**独特な授業システム**

新村式基礎学習教材の特徴

わかる教材である

楽しく学習できる

自学自習できるように構成されている

総合的な学習内容「**読み・書き・計算**」になっている

能力別指導が可能である

習熟を目的としている

豊富な学習内容（基礎学習練習帳）

例えばAシリーズでは、たしざん・ひきざんをはじめ、文章題・お金・時計・図形・漢字など、実に様々な内容で構成されています。

詳しくは基礎学習練習帳 入門・A～Dシリーズ単元配当表（43～44頁）をご覧ください。

教材（学習内容）の導入段階

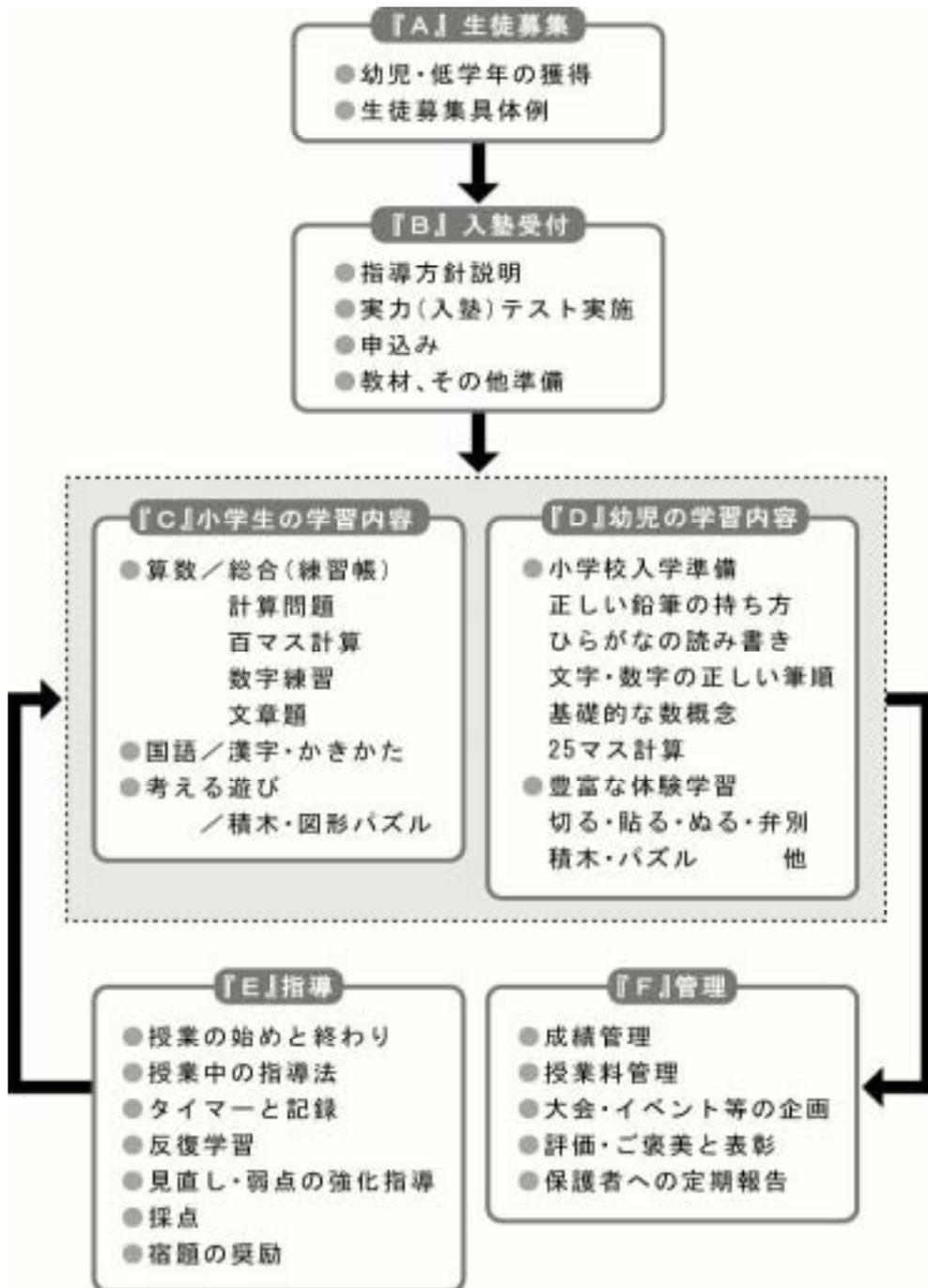
Step 1………**当教材三本柱**

実力テスト	個々の能力を把握します。
基礎学習練習帳	当教材の一番主なもので、総合的な学習内容です。
基礎計算テスト	集中力とスピードを養成。練習帳との進度調整に使用。

Step 2………Step 1 + 文章題・漢字練習帳

Step 3………Step 1・Step 2 + その他教材（かきかた・つみき等）

(2) 基礎学習システム全体図



(3) 基礎学習システム詳細

『A』生徒募集

幼児・低学年の獲得

当システムを使って塾展開を行うには、幼児・低学年は必要不可欠な存在です。当システムは幼時・低学年からスタートしてこそ威力を発揮し、基礎の習熟がはかれます。また、以下のようにこの時期は、塾から見た立場だけでなく親・子供側にも大きなメリットがありますので、獲得には絶好のチャンスだと言えるでしょう。

塾側のメリット・・・ 先が長い(生徒の通塾期間が長い)

幼児時代から学習している生徒は、小学校に入ってから群を抜いて勉強が出来るため、広告塔の存在になる(塾の知名度・信頼)

親側のメリット・・・ 子供が勉強嫌いにならない。小学校入学準備が出来る。

子供にメリット・・・ 遊び感覚で楽しく学習できる。勉強に対する嫌悪感がなくなる。

生徒募集具体例

折込みチラシ・DM(ダイレクトメール)

折込みチラシは幅広く募集したいときに効果的です。逆にDMはターゲットを絞り、より詳細な情報を伝えるのに便利です。その時々により使い分けると良いでしょう。また、定期的な折込みチラシは、塾の知名度UPと安心感へと繋がります。

当社では、「基礎学習」・「エジソン」・「幼児」用の3点の折込みチラシと、

DM封入用の「ミニ練習帳」(入門・A・B・Cシリーズ)をご用意しております。

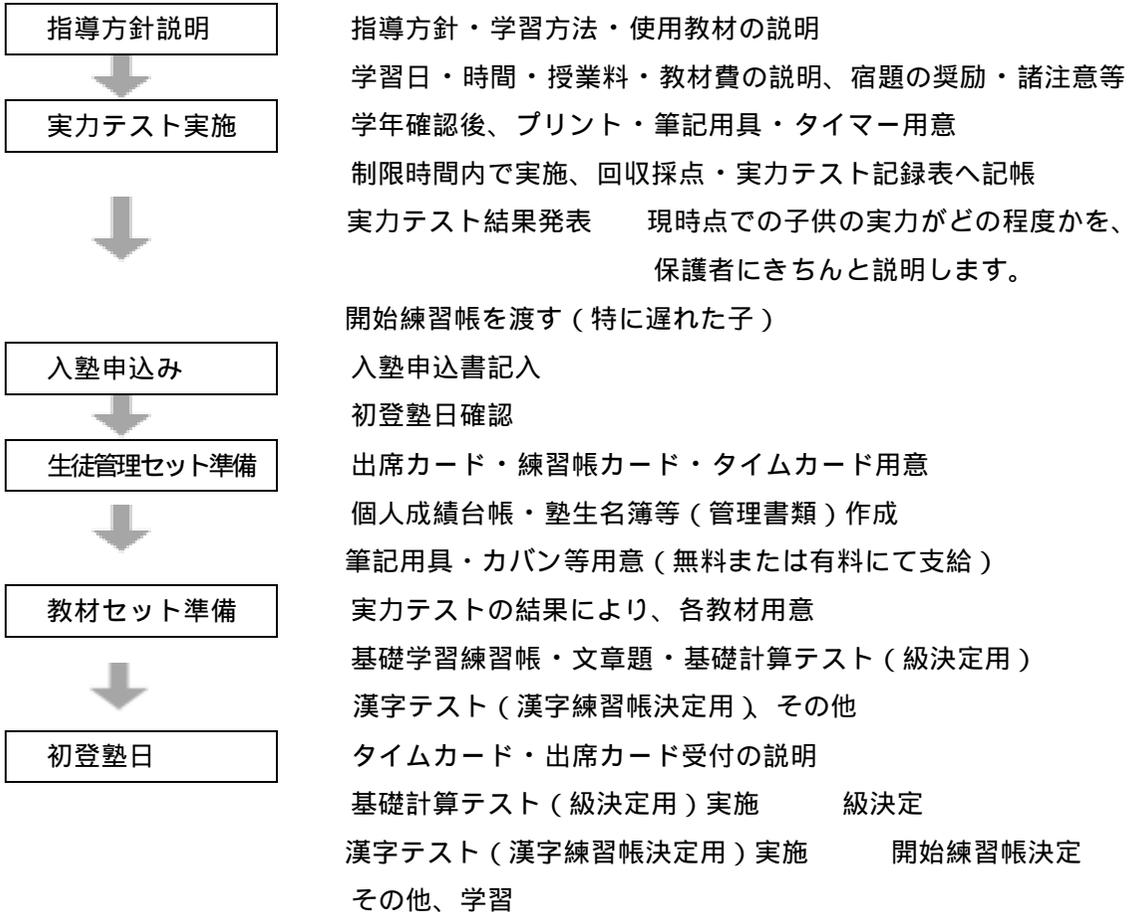
夏休み体験学習

夏休み体験学習とは、夏休みの長期休暇の間だけ学習指導を受ける生徒を募集し、特別な条件(授業料・時間等)で実施する学習のことをいいます。体験学習を行うメリットは、入塾予定者の確保という点と、教室の存在をしっかりとアピールすることができるという点です。入塾前に塾の雰囲気も分かると安心できますし、毎年継続して体験学習を実施していると地域への知名度にも繋がります。また、夏休みと、親にとっては子供の学力低下の心配の種であり、子供にとっては遅れを取り戻したり、学力の定着をはかったりするためのいい期間でもあるので、この長期休暇を利用しない手はありません。

また、夏休み以外の短期休暇も、生徒募集を行うには良い機会です。時期にあわせて無料体験や集中講習、特訓教室等を企画してみてください。

『B』入塾受付

受付から初登塾日までの流れ



指導方針の説明について

教材と説明用資料・学習内容分析表等(別紙付録)を見せながら内容を説明します。

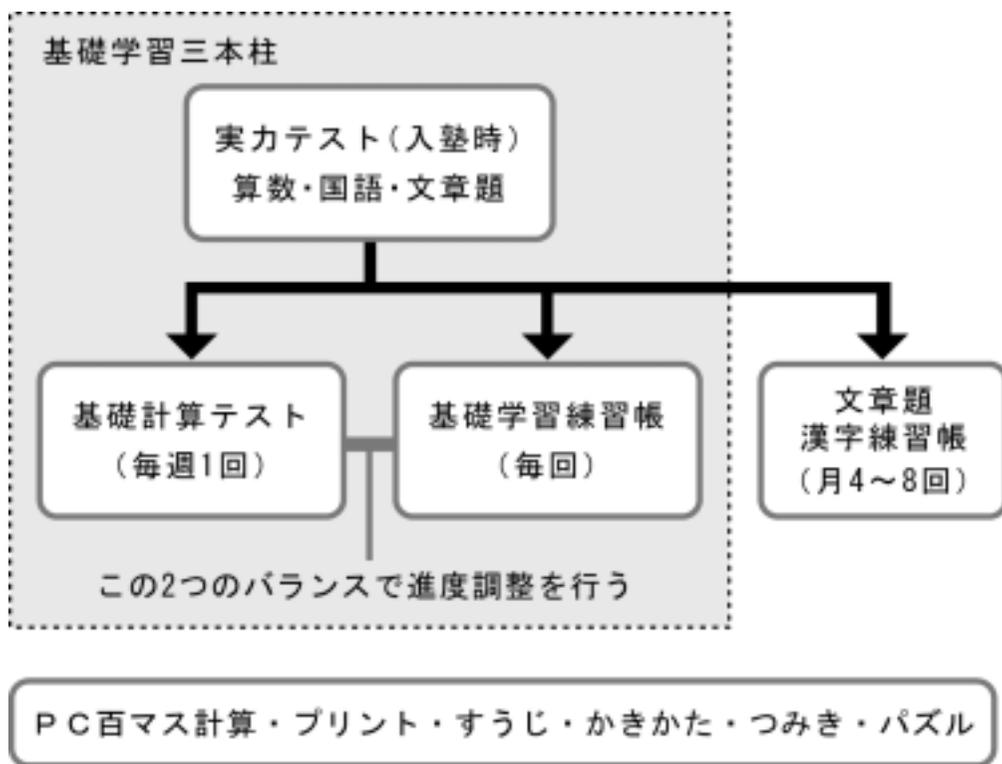
説明用資料は次の通り

- (A)基礎学習の必要性 (B)当教材の特徴 (C・E)文章題とその能力の実態等
(D)計算力到達度分布 (F)豊富な指導内容

入塾心得（別紙付録）や宿題の奨励（15頁参照）についても説明します。

『C』小学生の学習内容

基礎学習教材構成図と開始手順



入塾時に実力テストを実施し、その結果より実力にあった各教材を渡します。

- | | |
|-----|---|
| 算 数 | 開始「 基礎学習練習帳 」を決定。(20頁参照)
結果級を目安に「 基礎計算テスト 」を行い、「 基礎計算テスト 」の級を決定。(26頁参照) |
| 国 語 | 1学年下げた「 漢字テスト 」の後半2枚で実力をはかり、開始「 漢字練習帳 」を決定。(30頁参照) |
| 文章題 | テストの結果と< 文章題の級位表 >を照合して、「 文章題 」の級を決定。(27頁参照) |

その他の教材(PC百マス計算・プリント・すうじ・かきかた・つみき・パズル)は、学年・教材レベルを目安に決定します。

小学生の学習プラン例

一日の学習量（一週間毎にメニューを変更した例）

学習時間 50～70 分程度

5～6 種類、8 頁程度

第 1 週	第 2 週
みなおし 練習帳（5 頁） P C 百マス計算 文章題（1 枚） かきかた（1 頁） 基礎計算テスト（1 セット）	みなおし 練習帳（5 頁） P C 百マス計算 文章題（1 枚） 漢字練習（1 頁） 数字練習（1 頁） つみき
第 3 週	第 4・5 週
みなおし 練習帳（5 頁） P C 百マス計算 数字練習（1 頁） かきかた（1 枚） 基礎計算テスト（1 セット）	みなおし 練習帳（5 頁） P C 百マス計算 文章題（1 枚） 漢字練習（1 頁） プリント（1 枚） パズル

宿題の奨励...教室では 1 回に練習帳を 5 頁やらせます。残りは家で仕上げるように指導します。計算練習帳（犬・猫）も宿題用として活用しましょう。
各学期の終わりの時期に、計算大会・かきかた大会・ぬりえ大会などを実施

小学生教材一覧 小学 1 年生～小学 4 年生

教材	種類	教材	種類	教材	種類
1 基礎学習練習帳	98	6 P C 百マス計算	12	11 かきかたノート	5
2 文章題問題集	16	7 実力テスト（入テ用）	5	12 積木・積木ノート	4
3 漢字練習帳	12	8 文章題実力テスト	6	13 図形パズル・ノート	6
4 計算練習長	15	9 数字練習帳	4	14	
5 基礎計算テスト	20	10 漢・文・計プリント	23	15 計	230

『D』 幼児の学習内容

小学校入学までに必要な学習

幼児期を終え、新しい生活とともに始まる小学校での学習。希望と期待で胸を膨らませ、いざ勉強をはじめてみたら、字も読めなければ数字もかけない。「こんなことになったらどうしよう。」幼児をもつ親は皆、こんな不安をかかえているのではないのでしょうか。

そこで登場するのが当システムの幼児教材。正しい鉛筆の持ち方や筆順、なぞりやイラストから始まる読み書き練習、基礎的な数概念など、勉強の最初の一步を学びます。勉強が好きになるも嫌いになるもここから始まるといっても過言ではなく、塾に課せられた使命はとも大きなものだと言ってもいいでしょう。

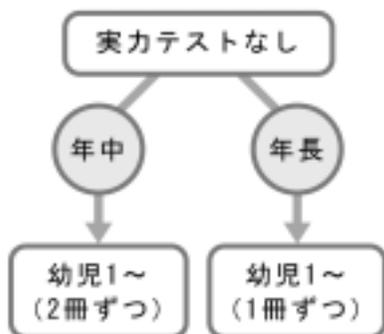
しかし、幼児の学習はとても大切な反面、手がかかって大変なものでもあります、安心して下さい。

当システムの幼児教材は幼児の特徴を考慮して、飽きずに・楽しく・集中して学習できるように工夫がしてあるので、子供には楽しく、指導者には手間なく指導ができるのです。

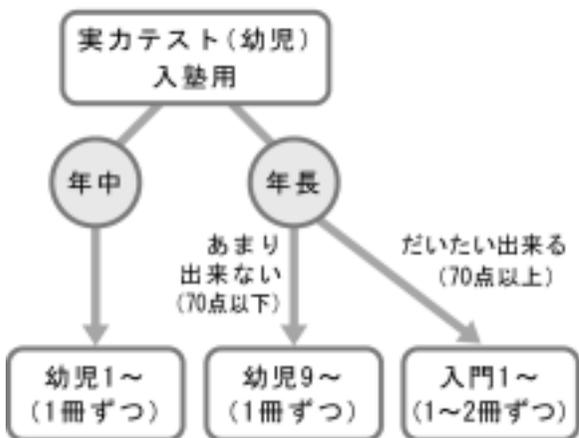
さて、幼児期に楽しく学習することを体で覚えた子供はというと、小学校に入ってから学習にとまどいなく入ることができます。同時に、これから学ぶ「読み・書き・計算」という基礎的学力の大事な土台もできあがり、正に一石二鳥という訳です。

練習帳の開始手順

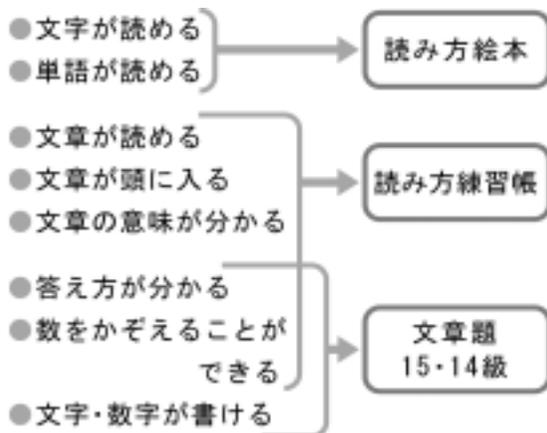
●読み書きの出来ない子



●読み書きの出来る子



読み方の開始手順



幼児の学習プラン例

一日の学習量

学習時間 50～60分・6種類

数ある教材をバランスよく振り分け、印のついたものを学習（計8頁）

幼児基礎学習カード

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	その他
	みなおし	練習帳（3頁）	読み方絵本	読み方練習帳	すっじれんしゅう	かきかた	123積木	パズル	ぬりえ	きりえ	基礎計算テスト	PC25マス計算	ピクチャーパズル	
5/7														
5/11														
5/14														
5/18														
5/25														
6/1														
6/4														

宿題の奨励...1回に練習帳を3頁程度やらせましょう。

幼児教材一覧

実力テスト（入塾用）

基礎学習練習帳

基礎計算テスト

計算練習帳・PC25マス計算

数字練習帳

よみかた絵本

よみかた練習帳

文章題

幼児のかきかたノート

ぬりえ

123積木・つみきノート

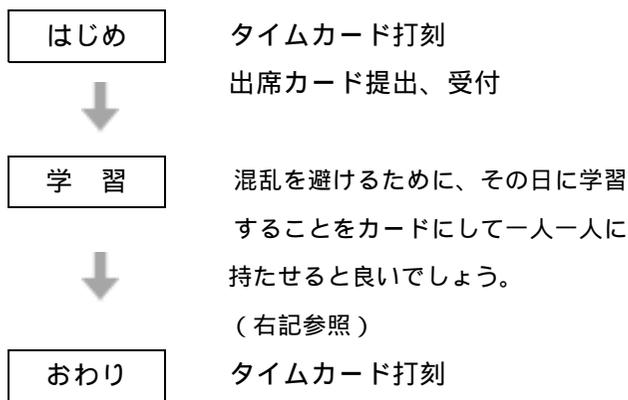
図形パズル・パズルノート

きりえノート

『E』指導

一人一人の状況を把握しながら、一度に大勢の生徒を指導するのは大変なものです。かといって手を抜くわけにもいきません。ポイントをしっかり押さえて、効率のいい指導を行いましょ

授業のはじめとおわり



(例) 学習カード

✓	みなおし
✓	PC百マス計算
✓	練習帳(5頁)
✓	文章題(1枚)
✓	漢字練習帳(1頁)
	プリント(1枚)
	図形パズル

学習が終わった項目に✓をする。
すべて✓がついたら学習終了。

授業中の指導法

挨拶は全ての基本です。教室への入退出時の挨拶や、質問・受け答え等も丁寧な言葉で話すように指導しましょう。

学習中は机間をまわり、鉛筆の持ち方や姿勢を正させます。

書き方が乱暴な生徒には注意をし、丁寧に書くように指導します。

また、落ち着きのない生徒や、お喋りが多い生徒にも注意をしましょう。

質問に対しては詳しく教え過ぎずヒントにとどめ、なるべく自分の力で考えさせるようにします。

鉛筆は年中...4B、年長...3B、1年生...Bと2B、2年生以上...HBと2Bをもたせます。

「かきかた」の学習の際は、下敷きを敷き、その都度やわらかい鉛筆を使うようにして下さい。

一冊終わった練習帳は、しっかり学習しているかどうかその場で目を通します。

乱雑な場合やぬかしがある場合はやり直しをさせ、その後に新しい練習帳を渡します。

練習帳の文章題頁は「隠し答え」(24頁参照)を活用しましょう。

タイマーと記録

タイムなしで学習するとただらとし、緊張感・集中力に欠け学習効果があがりません。原則としてどの学習にも制限時間を決め、タイム計測を行いましょう。

**集中力の強化・時間配分の訓練**

毎回同プリントをやらせる場合は、記録(日付・タイム・できた問数)をとらせて下さい。自分がどの程度向上しているのか分かると嬉しいものです。やる気もです。

**挑戦意欲・タイムを向上させ自信をつける****反復学習**

学力を定着させるには、十分理解させてから進める必要があります。すなわち反復学習です。この反復学習を怠って先へ進みすぎてしまうと、難しくなりすぎて失敗してしまいます。順調に進んでいる場合でも、練習帳は2冊程度繰り返すようにしましょう。

見直し・弱点の強化指導**見直し**

間違い(V)がそのままでは、いくら反復学習を行っても十分な理解は得られません。採点后、間違いを直す「見直し」が必要です。見直しは、毎回学習の一番はじめにやらせます。最初はうっかり間違いや自力で直せる箇所を一人でやらせ、その後に分からない箇所を指導します。

弱点の補強

ひきざんだけが苦手など一部の領域だけが弱い場合は、その部分を早期に発見して補強してあげることが大切です。練習帳のひきざんの頁や基礎計算テストのひきざん等、該当箇所をコピーして使用してください。

各種特訓

学校で新しく習う学習の事前特訓なども行うと良いでしょう。

<例> かけざん特訓(2年生対象・夏休み頃から実施)

九九が全部言えるように特訓します。

一段ずつ、順九九($2 \times 1 \cdot 2 \times 2 \dots$)・逆九九($2 \times 9 \cdot 2 \times 8 \dots$)をつかえずに言わせません。次に指導者が九九を出題、全部答えられたら合格、次の段へ進みます。

採点

採点は個々の能力を把握し、指導するために必要な作業ですが、同時にとても手間のかかるものでもあります。効率よく採点するよう心掛けてください。

採点方法・・・・・・・・・・ 解答と照合して採点

各教材に赤ペンで答えを書き込み、それを解答として使用し採点
指導者自身が一度問題をやっておくと指導時に役立ちます。

練習帳の採点は、解答帳（別売り）の巻末にある採点例を参照。

採点者・・・・・・・・・・ 指導者またはスタッフ

最初の採点は人にまかせても、見直しの採点は指導者が行います。
そうすることで、その子の弱点が発見できます。

上学年の生徒に採点してもらうときには、デタラメに採点しない
ように、名前を記入してもらいと良いでしょう。

採点のタイミング・・ 漢字・かきかたはその場で添削。見直しの採点・指導もその場で。
練習帳・文章題・テスト等はまとめて空き時間や授業後に行います。

宿題の奨励

子供の学力を伸ばす条件として、学習量を増やすという点があります。しかし塾での限られた時間内では、それはなかなかまなりません。そこで、家庭学習＝宿題が必要になってきます。学習量と進級率は言うまでもなく比例します。また学習量を増やすことで着実に実力がつき、子供は自信をつけていくのです。宿題がいかに大切なものかを保護者にも理解してもらい、宿題をやるように呼びかけていきましょう。

指導者のポイント

指導者の心得

当教材は生徒が楽しみながら自学自習できるように編集してありますので、経験や資格がなくても十分に指導できます。指導者は常に子供達をサポートしてあげられるように、次の事柄を意識して指導にあたって下さい。

生徒を励まして学習意欲を持続させること。

生徒の学力に合ったちょうどいい教材を与えること。

適切で十分な量の反復学習をさせること。

弱点を早期に発見して補強すること。

『 F 』 管 理

指導面だけでなく、様々な管理も指導者の大切な仕事です。この部分を怠ると塾はうまく展開しません。塾を成功させる秘訣は正にこの管理ともいえます。

成績管理

一人一人の進捗調整や全体の成績状況を把握するために、成績管理を行います。生徒管理用品として、当社では以下のような用紙を取り揃えております。用途に応じてご使用下さい。

- (個人用) 練習帳個人成績台帳・・・練習帳の進捗状況・誤答数を記録する個人台帳
 テストカード・・・・・・・・・・出席カード裏面、個人別の計算テスト記録カード
 練習帳カード・・・・・・・・・・練習帳の冊数・誤答数の記録カード
- (全体用) 基礎計算テスト記録表・・・全体用の計算テスト記録表 級別に管理
 実力テスト記録表・・・・・・・・全体用の実力テスト記録表 学年別に管理
- (記入例 36～41頁参照)

授業料管理

月ごとに管理します。(出席カードに領収印) 月別個人別一覧を作っておくと便利です。教材費や夏・冬の冷暖房費等は、一律又は回数制などで決めて授業料と一緒に徴収すると良いでしょう。

大会・イベント等の企画

日々の学習に慣れてしまうと緊張感がぬけ、全体的にだらけてしまいます。常に学習意欲を持続させるためにいろいろな大会を実施すると良いでしょう。実施後は、結果発表や展示を行います。表彰・ご褒美(点券)も忘れずに。

(イベント・大会例)

練習帳ガンバリコンクール(台紙 41頁参照)

一定期間内で練習帳の仕上げた冊数を競います。(間違いが多い場合は冊数から減点)
 計算大会

全学年同一プリント・制限時間内で実施。学年ごとに上位を競います。

かきかた大会・ぬりえ大会

学期末に実施。かきかたは日常のかきかた学習の発表の場として、ぬりえは普段は見えにくい発想力・表現力の発表の場として行います。

評価・ご褒美と表彰

前頁で述べた大会・イベント等を実施した時や、生徒が頑張ったとき・うまくできたときには、きちんと評価してあげましょう。

ご褒美(点券)・表彰の活用例

- 「練習帳がんばりコンクール」の上位者
- 「かきかた大会」「ぬりえ大会」の受賞者
- 「基礎計算テスト」合格者
- 「宿題チャンピオン」の上位者
- 「計算大会」の上位者
- 「皆勤賞」等

点券とはいわゆるお買い物券のようなものです。獲得した点券は、学期末などに

「点券交換会」を催して、文具や生徒達の好きなものと交換してあげます。

賞別ご褒美(点券)の点数例

特賞...10点 金賞...7点 銀賞...5点 銅賞...3点 努力賞...2点 参加賞...1点

保護者への定期報告

ミニ通知表

保護者は当然我が子の成績が気になるものです。現在の進捗状況や得意・不得意分野、気づいた点等をまとめて学期末に「学習状況のご報告」などを作って定期報告します。(45頁参照)

終わった教材の返却

学習の済んだ教材は学期末にまとめて生徒たちに返却します。

塾だより

かきかた大会・がんばりコンクール・計算大会等の結果や休みを利用した特訓教室のお知らせ、塾で力を入れている課題等を、学期末ごとに「塾だより」に盛り込んで報告します。毎学期、読むのが楽しみになるようなオリジナルの「塾だより」を目指してください。

